

2026年5月12日

各位

会社名	株式会社エクサウィザーズ	
代表者名	代表取締役社長 CEO	春田 真
	(コード番号：4259 東証グロース)	
問合せ先	コーポレート統括本部長 CFO	前川 智明

**繰延税金資産および特別損失（減損損失）の計上ならびに  
個別業績および連結業績の今期実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ**

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間（2026年1月1日～2026年3月31日）において、繰延税金資産及び特別損失（減損損失）の計上を決議するとともに、2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日、以下「当期」）の当社の個別業績および連結業績について、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日、以下「前期」）実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上について

当社は、将来減算一時差異の増加に伴い繰延税金資産を計上いたしました。これにより、2026年3月期第4四半期連結会計期間において法人税等の合計として△411百万円を計上いたしました。これは、今後の業績見通し等を踏まえ、将来の課税所得が確保できる見通しとなったことで、繰延税金資産の回収可能性が高まったと判断したことによるものです。

2. 特別損失（減損損失）の計上について

当社は、当社を取り巻く技術および市場環境の変化に応じて適宜事業計画を見直す中で、2026年3月期第4四半期において、AIソリューションサービス事業に属する連結子会社が保有するソフトウェア資産について、収益性が低下した資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、結果として減損損失として22百万円を計上いたしました。

### 3. 当期個別業績の前期実績との差異について

#### ① 当期個別業績と前期個別実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前期実績値 (A)	5,089	△668	△371	△1,482
当期実績値 (B)	5,462	△137	466	928
増減額 (B - A)	372	531	837	2,410
増減率	7.3%	—	—	—

#### ② 差異の理由

2026年3月期の個別業績につきましては、AIプロダクト事業が前期に引き続き好調に推移したことに加え、利益体質への構造改革を進めていたAIソリューションサービス事業が回復基調となったことにより、売上高は5,462百万円（前期比7.3%増）と前期実績を上回りました。

利益面につきましては、増収効果に加え、構造改革の効果が発現したことにより営業利益が回復し、さらに営業取引以外の子会社からの業務受託料の増加に伴い経常利益も前期実績を大幅に上回りました。また、前期においてソフトウェア資産の簿価見直し等に伴う減損損失を計上していたことから、当期においては当該減損処理に伴う減価償却費の減少が利益面に寄与しております。さらに、個別業績においては間接費の配賦見直しに伴う影響も加わったことから、前期実績との差異が生じました。

当期純利益につきましては、「1. 繰延税金資産の計上について」に記載のとおり、繰延税金資産を計上したことにより、前期実績を大幅に上回りました。

### 4. 当期連結業績と前期連結実績との差異について

#### ① 当期連結業績と前期連結実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前期実績値 (A)	9,811	23	2	△2,576
当期実績値 (B)	11,996	1,594	1,566	1,513
増減額 (B - A)	2,185	1,571	1,564	4,089

増減率	22.3%	—	—	—
-----	-------	---	---	---

② 差異の理由

2026年3月期の連結業績につきましては、個別業績と同様に、AIプロダクト事業が前期に引き続き好調に推移したことに加え、利益体質への構造改革を進めていたAIソリューションサービス事業が回復基調となったことにより、売上高、営業利益及び経常利益はいずれも前期実績を上回りました。

また、前期においてソフトウェア資産に加え、子会社の簿価見直し等に伴う減損損失を計上していたことから、当期においては当該減損処理に伴う減価償却費の減少が利益面に寄与しております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当期においても「2. 特別損失（減損損失）の計上について」に記載のとおり、一部資産の見直しに伴う減損損失を計上しましたが、前期実績を大幅に上回りました。

その他の2026年3月個別および通期連結業績については、2026年5月12日公表の「2026年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」をご確認ください。

以上